

② 市民ヘルスマーケティングについて

1. 事業目的

令和 4 年度船橋市健康スケールの結果データを用いた事業評価等（コホート分析）を踏まえ、24 地区コミュニティ別の現状と課題並びに論点を市民とともに整理し、その解決に向け、楽しみながら健康づくり及び介護予防に取り組み、地区コミュニティの活性化を図る。

また、高齢になると社会的ネットワークが少なくなり、行動範囲が狭くなることで孤立し、身体的、精神的に問題を抱えることが多いことから、フレイル予防の重要性や地域で取り組む健康づくり及び介護予防の大切さを伝えるとともに、社会的フレイル予防にも取り組む。

2. 事業内容

各公民館等で行っているふなばしシルバーリハビリ体操教室に続けて開催し、地区分析による資料データ等を基にテーマを決め、参加者同士でグループになり意見交換を行う。地区コミュニティの活性化を図ることを目的としているため、市民のみでなく、高齢者に関わる団体の方々にも参加を促している。

また、地区ごとの課題に沿った講話を専門職種に依頼し、生活の中で取り組んでほしいものを学ぶ機会を設け、課題解決を目指す。

(1) 対象者

原則 65 歳以上の市民の方、高齢者に関わる団体の方

(2) 実施状況(令和 6 年 1 月 31 日時点)

令和元年度	会 場： 各 26 公民館 開催回数： 52 回（年 2 回実施） 参加者数： 2,153 人（1 会場あたり 41 人）
令和 2 年度～4 年度	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業を中止。
令和 5 年度	会 場： 各 25 公民館＋三山市民センター 開催回数： 26 回（11 月～1 月の間に 1 回実施） 参加者数： 938 人（1 会場あたり 36 人）

3. 課題

- (1) ふなばしシルバーリハビリ体操教室に続けて開催しているため、主な参加者が体操参加者と同じである
- (2) 社会的フレイルを予防するために、すでに人や社会とのつながりが希薄になっている高齢者へのアウトリーチの手段

4. 今後の対応

地区の健康課題に対し、住民同士が顔を合わせ話し合うことは、気づきだけでなく住民同士のつながりが生まれ、社会的ネットワークが少なくなりやすい高齢者の社会的フレイル予防になる。新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて令和 2 年度以降実施をしていなかったが、今年度から再開した。今後も、地域の健康課題を市民や関係機関と共有し、健康への取り組みの推進及び地区の活性化を図っていく。